
雨道

夷 神酒

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

雨道

【Nコード】

N2315C

【作者名】

夷 神酒

【あらすじ】

私が経験した失恋を、歌詞のような詩で描いてみました。正直言
って駄文です。

(前書き)

閲覧ありがとうございます

曇り空の下
僕は上の空
携帯開く
着信はナシ

メールボックス開く
最初に出てくるは
貴方のフォルダ
削除操作する

消そうとする
貴方の形跡
だけど指が止まる
頬に伝う涙

孤独な雨が降りだして
僕は雨受け走りだす
貴方を思い出したから
してはいけない事だから

僕ら一緒に歩いてきた
振り返れば長い一本道
泣き笑い喧嘩しあつた日々全てが僕の宝物

僕は貴方になにが出来た？

貴方はなにを求めた？

僕は何を見ていた？

本当に彼女を向いていた？

貴方は何処へ行つてしまつた？

それさえ分からね俺はなんだ？

答えられなくて…

今まで一緒にいた時間

その意味を知りたい

だから僕は傘さえ持たず

貴方の足跡探してく

凍てつく雨に打たれ

頬の温もり流れゆくけど

忘れられない貴方のことを

貴方は隣に居ないのに

僕ら一緒に歩いてきた

前見れば二本の分かれ道

これから二人別々の未来

違う人生歩んでく

なんでなにもしねえんだよ？

大切なんだろう？
何も出来ねえのか？
本当にそれでいいのかよ？
お前の思いはそんなもんか？
愛する権利なんてあったのか？

否定出来なくて…

雨に打たれて体が冷えて
冷えた頭で僕は気付く
貴方の足跡たどっても
後を追うこと出来ない事を

止まぬ雨の中で
分かれ道の前立ち止まる
貴方の道の快晴祈り
雨を背負って僕は行く

止まぬ雨の中で
貴方の事を想い歩く
『忘れられなきや想い続ける』
濡れる掌握り締めた

(後書き)

これを読んだあなたは、失恋したからって、無駄な風邪をひかないように注意してください。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2315c/>

雨道

2010年10月17日02時19分発行